

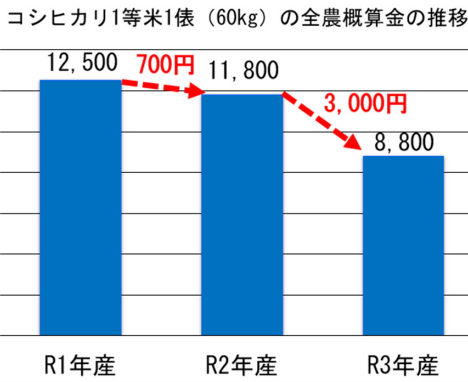
農業者支援について



松阪市新屋敷町地内

質問

新型コロナウイルス感染症の影響により、米価が大幅に下落しました。さらなる下落は、農家の生産意欲を後退させ、農業経営の断念に繋がります。コロナ禍という危機的事態の中、新たな支援策が必要と考えますがいかがですか。



農林水産部長

スマート技術を生かした、品質向上に繋がる肥料散布や病害虫防除に係る技術の普及、短時間労働が可能な仕組みづくり、中古農業機械状況の提供などに取組んでいます。引き続き、所得と労働力の確保に向けた支援に取り組みとともに、農業共済や収入保険の加入促進を進めます。

外来魚対策について

質問

外来魚は、全国の河川湖沼で繁殖し、日本の在来種を捕食することから、日本の生態系が壊されつつあります。県市町や活動団体等が、駆除活動を実施しておりますが、特定外来種は増え続ける一方で、このままでは日本古来の在来種が激減してしまう可能性があります。これまでの成果と今後の、外来魚対策について伺います。



雲出川で駆除

意見

有休農地を増加させないためにも、コストをかけずに続けていけるような、農業支援をお願いします。
また、中山間地域では猪による獣害対策用の金網の倒壊や鹿による飛び越えなど、農作物への被害が後を絶たない状況にあります。このようなことから、高く強固な防護柵を設置するための、助成金の創設を要望します。

農林水産部長

生態系保全のための普及啓発や外来魚の駆除活動の支援として、活動に必要な資材の助成を行うとともに、内水面水産資源の回復促進事業により、取組の強化を図っています。引き続き国や市町自然保護団体、漁協等と連携し、外来魚の駆除の取組を進めていきます。

意見

ひとたび崩れてしまった自然を元に戻すのは至難の技です。現地を確認いただくとともに、現地に合わせた対策をお願いいたします。

ウッドショックをどう捉えるか

質問

新型コロナウイルスによる世界的なパンデミックにより輸入木材の物流が停滞し、市場への供給が激減するウッドショックと言われる木材不足が生じています。これに伴い国産材も不足し、市場価格が上昇しています。ウッドショックは、外材から地域材に転換していくチャンスと考えますが、原木の供給が追い付いていない状況にあります。県内の状況を踏まえ、三重県はどのように取り組んでいくのか、伺います。

農林水産部長

ウッドショックを県産材のシェアを拡大するチャンスと捉え、生産能力の向上や供給体制の構築、原木供給の増加に向けた取組を行っています。市町林業関係団体とも連携して、木材の安定供給に取り組むことで、県産材のシェア拡大に繋がってまいります。



意見

ウッドショックは、当面続くことが予想されています。他の都道府県との差別化を図りながら、ウッドショックをウッドチャンスに変えるべく、鋭意施策を進め、県産材の利用促進に繋がっていただきますよう、お願いします。



ウッドピア松阪特別市

田中ゆうじ事務所

ホームページ



〒515-0022

松阪市新屋敷町409

TEL0598-50-2322

FAX0598-50-2319

http://tanaka-yuji.xrea.jp

mail:toubu-01@mctv.ne.jp